

「三嶺の森をまもるみんなの会」総会記念ミニ講演会のお知らせ



手入れした人工林の下層植生（防鹿柵外は何もない）



シカ食害によって失われた自然林の下層植生

本来、自然の森には多様で大小の樹木とその下層にかん木、ササ、シダ、草花などの植生が茂っているのが一般的な姿です。しかし、**現実には人工林はおろか、盤石だった三嶺の森のような豊かな自然林さえ下層植生の大半が失われています。**

人工林は主に手入れ不足によって、また一部の高密度生息地域でのシカの食害（左写真参照）によって、下層植生が失われています。

三嶺山系の自然林内の下層植生の大半も最近の4、5年の間にシカの食害によって、そのほとんどが失われてしまいました。

下層植生の消失は保水力低下や土砂流出・崩壊につながることから、私たちは「森と水」・流域の視点から問題にしてきましたが、そればかりか森林生態系・森の仕組みにも多大な影響があるであろうという観点から、今回のミニ講演会を開催し、共通認識を深めたいと思います。

なお、講演・質疑終了後には、**大きな群れが三嶺山頂周辺に迫る最新の三嶺・剣山系のシカと被害状況等の情報交換を**したいと思います。

「みんなの会ネットワーク」会員ならびに一般の方々のご参加をお待ちしています。

講師：佐藤重穂（森林総合研究所四国支所） 約1時間

テーマ：「森林の下層植生の消失による生態系への影響」

講演後：三嶺のシカと対策に関する情報交換等

日時：3月22日 13時30分～15時30分（質疑含む）

会場：森林総合センター・情報交流館（香美市土佐山田町大平）

問い合わせ先：坂本彰（090-3460-8004）または依光良三（090-4338-5209）